

システム変更等のお知らせ

(2022.10.1 - 2022.12.31 変更)

1. ハードウェア

- 1.1 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.3 Ipomoea-01 大規模共通ストレージシステム … なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 8 (Wisteria/BDEC-01)

➤ Aquarius

HDF5	v1.12.2	(2022.11.25)
GSL(GNU Scientific Library)	v2.6	(2022.12.23)
FFTW	v3.3.10	(2022.12.23)

➤ ログインノード

HDF5	v1.12.2	(2022.11.25)
gtags	v6.6.8	(2022.12.23)
GSL(GNU Scientific Library)	v2.6	(2022.12.23)
FFTW	v3.3.10	(2022.12.23)

➤ Guacamole サーバ

Apache Tomcat	v9.0.68	(2022.11.25)
---------------	---------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX) … なし

2.3 Red Hat Enterprise Linux 8 (Ipomoea-01) … なし

3. その他

3.1 Oakbridge-CX における shm キュー新設について

Oakbridge-CX では、shared memory (/dev/shm) の利用上限値を計算ノードに搭載される物理メモリ (192 GiB) の 50% から 90% へ緩和した「shm」キューを 11 月 22 日より新設しました。

詳細は以下のとおりとなります。

キュー名 : shm
ノード数 : 1 ~ 8
制限(経過)時間 : 24 時間
メモリ容量 (GiB) : 168

※ shared memory (/dev/shm) は物理メモリ (192GiB) の 90% まで利用可能